

CSR REPORT 2019



この笑顔を未来まで



クリーンシステム

2018年度実施分

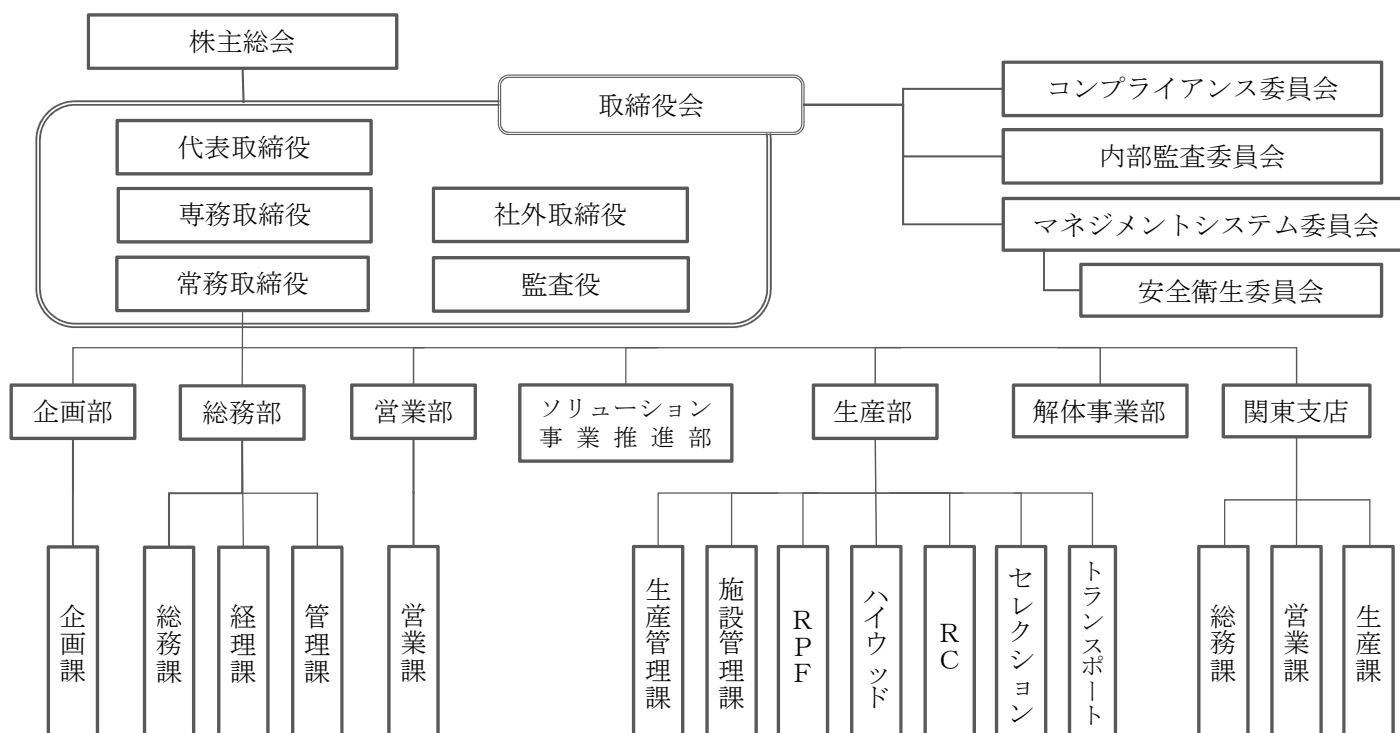
限りある資源を大切に 私たちは地域とともに



全員参加の安全大会にて（新RC施設前）

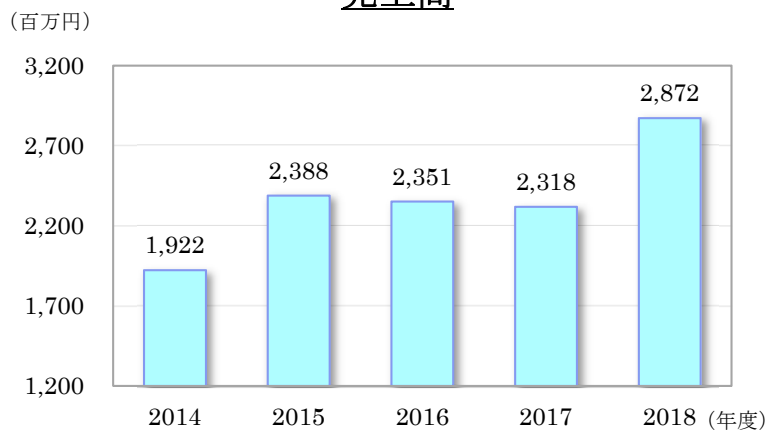
会社概要

商号	株式会社クリーンシステム (英) Cleansystem Co., Ltd	正社員数 95人 (2019年3月31日現在)	
代表者	代表取締役 鈴木 隆	所属 団体	一般社団法人 山形県産業資源循環協会 一般社団法人 山形県解体工事業協会 山形再生骨材協同組合 NPO 北日本木材資源リサイクル協会 一般社団法人 日本PCB全量廃棄促進協会
設立	1978年 (昭和53年) 2月		
資本金等	2億円 (資本準備金を含む)		
許可内容	【産業廃棄物収集運搬業】 山形県、宮城県、秋田県、岩手県、福島県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、新潟市		
	【産業廃棄物処分業】 山形県、柏市	【特別管理産業廃棄物収集運搬業】 山形県、群馬県	
	【一般廃棄物収集運搬業】 山形市、中山町、尾花沢市	【一般廃棄物処分業】 山形市	
	【特定建設業】 山形県知事許可 特-30 第100974号 (土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業)		

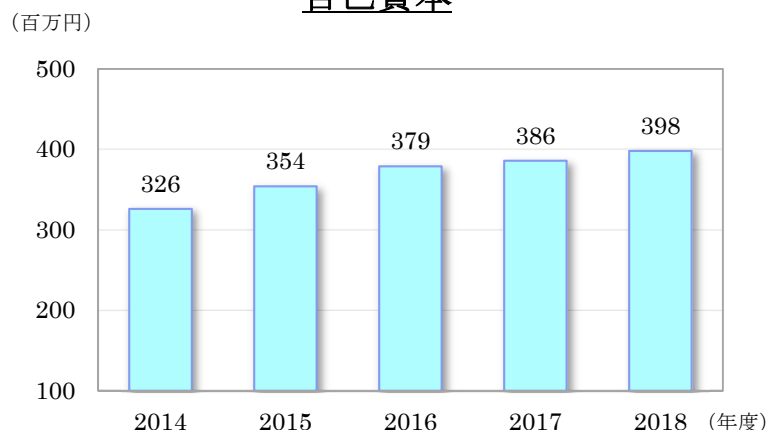


経営実績

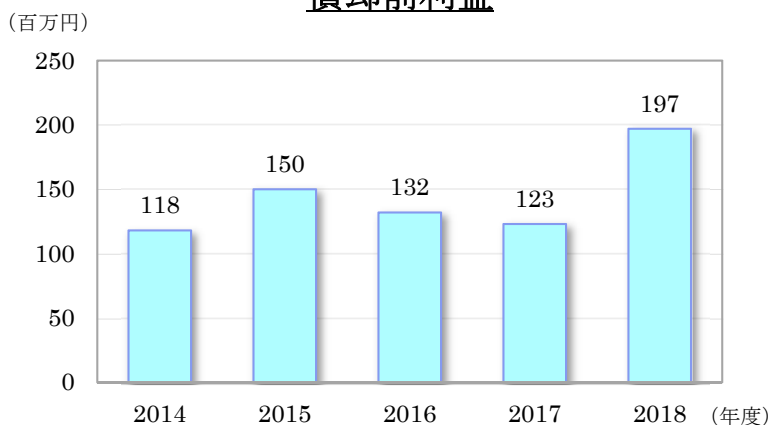
売上高



自己資本



償却前利益



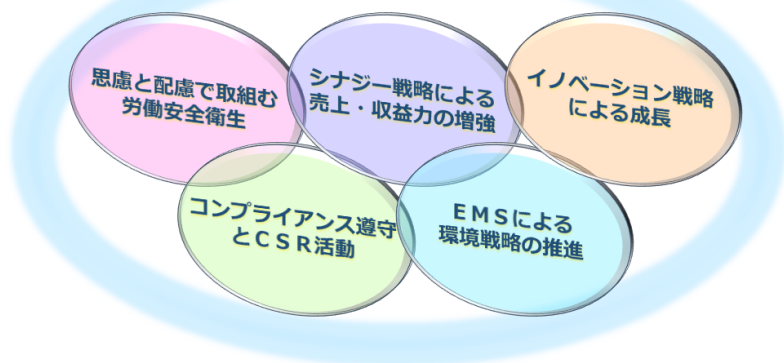
解体工事の主な実績 (2018年度)

上山元日通マイホーム	(上山市)
山形市野球場外野スタンド	(山形市)
七日町セブンプラザ	(山形市)
藤野ビル (大島7丁目プロジェクト)	(東京都)

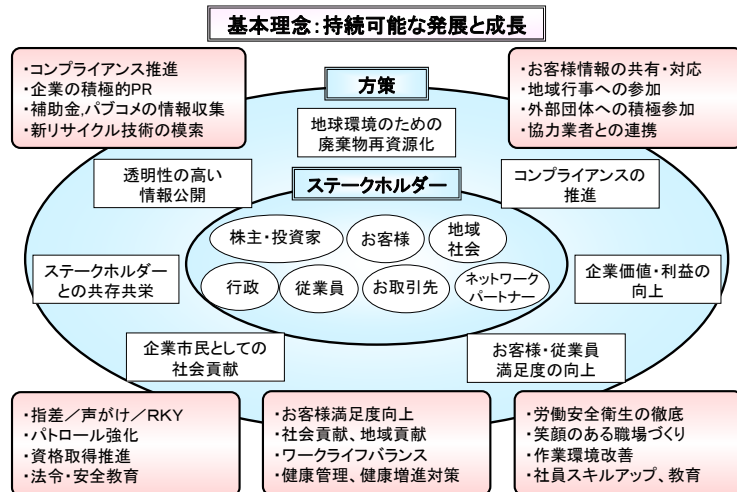
理念と方針

2018年度経営方針

＜基本理念＞ 創造性を発揮した発展と成長



2018年度 CSR方針



クリーンシステムとSDGs

SDGs (持続可能な開発目標) とは

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までに達成すべき目標のことで、大きく17の目標 (GOAL)に分けられており、全部で169のターゲットから構成されています。

地球環境に密接に係わる業界の一員としてクリーンシステムはSDGsの考えに賛同し、持続可能な世界の実現を目指して参ります。

2018年度のCSR活動内容についてSDGsと関連させて5ページ以降に明示しております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2018年度 主なCSR活動の実績一覧

CSR方針	活動内容
地球環境のための 廃棄物再資源化	コンクリート破砕施設の移設更新 施設の移設および更新を行いました。
	廃棄物リサイクル事業の推進 リサイクル率90%を目標にしております。
	パートナーシップ協定 (株)クリーンパワー山形・東北クリーン開発(株)と継続して締結しています。
	果樹剪定枝の受入れ 毎年4月に山形市内の農家を対象に無償受入れを実施しました。
	低燃費車両の導入 2018年度は新たに平成27年度燃費基準達成車を2台導入しました。
温室効果ガスの 削減目標及び実績	太陽光発電の実施 発電実績は50,012kWh、売電実績は約194万円でした。
	山形COOL CHOICE 事業所 温室効果ガス排出抑制に向けた活動を行っております。
ステークホルダー との共存共栄	安全衛生大会の開催 協力業者を含め約170名が参加し、安全講話、安全宣言等を行いました。
	施設見学者の受入れ 積極的に受入れを行っており、2018年度は48組の施設見学を受入れました。
	防災訓練への参加 山形県解体工事業協会の一員として毎年防災訓練に参加しています。
	芋煮フェスの開催 CSRステーションにて県内外のお客様を約250名お招きしました。
	受付窓口イベントの実施 季節ごとにイベントを実施し、おもてなしの心でお迎えしております。
	地元行事への参加 日本一の芋煮会、花笠まつりをはじめ地元お祭り等への協賛等行いました。
企業価値・ 利益の向上	(株)宇佐美製材所・(株)県南チップと資本提携 更なるシナジー効果を発揮して参ります。
	針葉樹種苗事業 森林資源の循環利用に使用するための苗木を生産しております。
	アイデア提案制度 2018年は新たに24件のアイデアが採用され、業務改善に寄与しました。
	やまがた健康宣言事業所登録 従業員の健康づくりを積極的に取り組んでおります。
	いきいき子育て応援企業ダイヤモンド認定 安心して子育てできる体制を整えております。
	女性会議の開催 女性目線のアイデアを経営へ活かしております。
	山形大学共同研究 新たなリサイクル技術の発展のため共同研究を行っております。
	各種資格取得の推進 難関資格の取得者に報奨金を支給し、社内のスキルアップに努めています。
	各種広告の実施 TV・ラジオCMや山形新聞各種広告など積極的に企業PRを行っております。
	河川愛護活動団体の認定 毎週定期的に工場周辺の河川敷清掃活動を行っております。
企業市民としての 社会貢献	BCP（事業継続計画）の策定 事業継続に係るあらゆるリスクへの対応を整備しております。
	献血サポーター団体への登録 社内外から累計47名の方に献血のご協力を頂きました。
	社会貢献活動の実施 社会貢献を目的にエコキャップ等の回収活動を行っております。
	イベントへの出展 やまがた環境展2018へ出展し、環境技術の発信を行いました。
透明性の高い 情報公開	優良産廃処理業者の認定 許可を有する9県2市より優良認定を受けております。
	PCB廃棄物収集運搬業許可取得 山形県、群馬県のPCB廃棄物収集運搬業許可を取得しました。
	コンプライアンス委員会の運営 法令順守・社内コンプライアンス体制の管理をしています。
コンプライアンスの 推進	安全パトロールの定期実施 作業現場における労働災害の未然防止に努めております。
	モンテディオ山形正会員継続加入 会社を挙げてチームを応援しております。目指せJ1！
顧客満足度・ 従業員満足度の向上	IT化の推進 PC会議によるペーパーレス化と、社内情報共有基盤の整備・強化を行いました。
	社内報の発刊 明るい話題満載で従業員・ご家族との連帯感を築いております。
	Tポイントサービスの導入 業界に無い画期的なサービスを行っております。
	隔週週休二日制の導入 働き方改革の一環として7月より第2、4土曜日を休業日としました。
	家族へプレゼント企画 従業員の家族の誕生日に会社よりお祝いの品をお贈りしました。
	従業員からの営業情報紹介運動 成約案件の提案者に対して褒賞を行っております。

地球環境のための廃棄物再資源化

廃棄物リサイクル事業



私たちは日々廃棄物のリサイクルに取り組んでおります。建設工事等において発生する木くず・がれき類は破碎処理を行い、それぞれ木質チップ・RC-40（再生骨材）として販売しております。製造業者等より排出される廃プラスチック類・紙くずは減容固化処理を行い、RPF（固形燃料）として販売しております。また、当社で再生製品にリサイクルできない廃棄物は信頼できる同業者へ処理委託しております。このように、当社では廃棄物処理事業を通して限りある資源の有効利用を推進しております。

木くず



破碎

木質チップ



2018年度生産量：約7,800 t



原料チップ：パーティクルボード原料
燃料チップ：石炭代替燃料
オガッ粉：酪農の敷藁材として再利用

がれき類



破碎

RC-40(再生骨材)



2018年度生産量：約30,600 t



下層路盤材などへ再利用

紙くず・廃プラスチック類



破碎
減容固化

RPF(固形燃料)



2018年度生産量：約7,200 t



世界的な廃プラ問題に対しても有効です。

石炭代替燃料として再利用

産業廃棄物受入量：58,623 t
(自社排出物を含む)

再生利用量：47,383 t
(上記製品以外の再生利用量を含む)

2018年度トータルリサイクル率：80.8%

低燃費車の導入



2019年3月末現在38台の廃棄物収集運搬車両を保有しております。うち17台が平成27年度燃費基準達成車となっております。

新規RC施設の導入



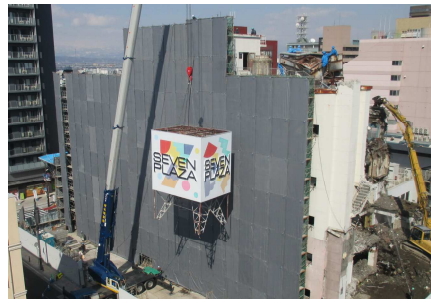
2018年9月より新たなRC施設（がれき類破碎施設）が稼働しました。破碎機などを建屋で囲うことにより、粉じん発生及び騒音の抑制につながりました。



建物解体工事業



木造住宅から大型ビルまで幅広く対応しております。2018年度は多くの大型案件を受注し研鑽を積んでまいりました。なお、発生した廃棄物は品目ごとに分類され、当社施設にて資源として生まれ変わります。



着工中 (2019.2.26)



完工間近 (2019.5.9)

関東支店



千葉県柏市にて破砕・圧縮梱包処理事業を行っており、廃棄物を運搬に適した荷姿に加工しております。東日本エリアにおける廃棄物処理の物流拠点として、広域的な資源循環を支援しております。

セブンプラザ解体工事より

パートナーシップ協定



(株)クリーンパワー山形・東北クリーン開発(株)・(株)クリーンシステムの3社間において、それぞれの強みを遺憾なく発揮するパートナーシップ協定を締結し、東日本エリアにて発生した廃棄物の安全・安心で円滑な適正処理及び有効利用を推進しております。広域的な資源循環を実現させることにより持続可能な社会を目指します。

温室効果ガスの削減実績

太陽光発電事業



非常時協定

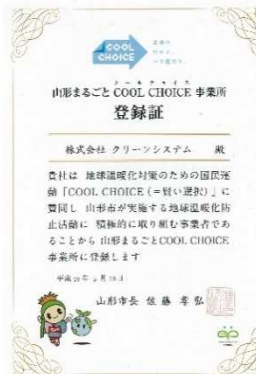
当社では2013年12月より太陽光発電事業を行っております。2018年度の発電実績は50,012kWh（一般家庭約10世帯/年）であり、発電した電力はすべて東北電力へ売電しております。

（2018年度売電実績：194万円）

また、災害等による非常時には、太陽光発電設備と可搬型小型蓄電池「エネレージ」を活用し、地元地域の皆様へ電力を提供する旨の協定を取り交わしております。

山形まるごと

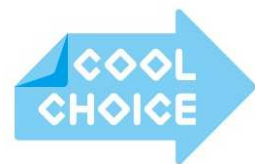
COOL CHOICE 事業所



認定証

山形市が推進する地球温暖化防止活動に賛同し、「山形まるごと COOL CHOICE 事業所」へ登録しました。

COOL CHOICE とは、省エネ、低炭素型の製品・サービスなどの地球温暖化防止に資する活動を選択することであり、当社としても廃棄物リサイクルや設備の省エネ化等を通じてCO₂の排出抑制に積極的に取り組んで参ります。



未来のために、いま選ぼう。

燃料チップおよびRPFによるCO₂抑制量 (石炭比較)

10,349t

事業活動によるCO₂発生量

1,784t

= CO₂抑制社会貢献量：8,565t

山形県森林面積の約6.8%が1年間に吸収するCO₂に相当 (参考：林野庁資料)

ステークホルダーとの共存共栄



2018年度クリーンシステムグループ安全衛生大会



2019年2月2日、安全意識のさらなる向上を目的とし当社グループ従業員及び協力会合わせて約170名による安全衛生大会が開催されました。

当日は長期無事故無災害達成者や永年勤続者等への各種表彰の他、外部講師による安全講話の受講が行われ、無事故無災害達成に向けて気持ちを新たに、安全宣言を行いました。

施設見学者の受入れ



当社ではリサイクル工場の見学者を随時受け付けております。当社のお取引先のみならず、一般の団体及び学生、個人の方からも環境学習を目的として見学をお申込みいただいております。2018年度は、総計48組の見学者を受入れました。



防災訓練への参加



当社が所属する山形県解体工事業協会が山形市と災害時協定を締結していることから、10月11日に元山形市営球場解体現場にて山形市消防本部救助隊と会員企業が合同で重機連携訓練を実施しました。土砂災害により要救助者が埋もれ、重機を使用するの救助活動が必要との想定で行いました。

他にも地元自治体との共同防災訓練等にも参加し、いつ発生するか分からない災害に備え、当社としても地域の防災活動に協力して参ります。



㈱クリーンシステム芋煮フェス



2018年10月に山形市西部工業団地の当社敷地にて芋煮会を開催。山形名物の芋煮を始め、名産品や地酒などを振る舞いました。当日は県内外のお客様、関係団体等約250名をお招きし、遠方のお客様にもお越しいただきました。今後も地元根ざした企業として山形の食文化を広く発信して参ります。

また、2018年度芋煮フェスの模様を動画サイトに投稿しております。右のQRコードを読み込み是非ご覧ください。



<芋煮フェス動画>



おもてなし活動



当社にお越し頂きましたお客様に対するおもてなし活動を継続的に実施しております。お客様への飲み物やおしぼりをご提供に加え、受付窓口にて季節の飾り付けを行うなど、当社を気持ちよくご利用いただける工夫を日々実践しております。



企業価値・利益の向上



県南グループと資本提携

2018年8月に(有)宇佐美製材所・(有)県南チップの2社と全面資本提携いたしました。宇佐美製材所では長年培った技術に基づき様々なニーズにお応えした製材を行っております。県南チップは南陽・米沢の工場で木質チップの生産・販売を行っております。それぞれの強みを生かしたシナジー効果が発揮され、更なる企業価値の向上につながっております。



針葉樹種苗事業への加入



近年、木質バイオマス発電所が全国的に増加しております。その結果山林の木々の伐採が進行し、伐採後に植樹する苗が不足する新たな問題が発生しております。

そこで当社では2017年度より、山形県と共同で針葉樹種苗のより良い育成方法を探る研究を開始しました。2019年度は昨年播種を行ったスギの出荷が可能となります。

また、花粉症対策として推奨されている少花粉スギの育成にも取り組んでおります。



アイデア提案制度



業務改善、収益向上、顧客満足度向上などに関する従業員のアイデアを一つでも多く実現するため、アイデア提案制度を実施しており、提案者には表彰を行っております。

また、2016年より本制度を拡充。「がっちりアイデアコンテスト」と称し、大幅な収益向上に資するアイデアの提案チームに褒賞金を授与する制度を新設しました。2018年度は1件の採用実績がありました。なお、本制度は社外の方々からのご提案も表彰の対象となっております。われこそはという方、ご応募お待ちしております。



健康宣言事業所への登録



近年、従業員の健康管理を「投資」ととらえる「健康経営」が注目されております。当社では定期健康診断後のフォローを行っているほか、分煙の徹底やメンタルヘルス面接等を行っております。2018年度には主に40代以上の方を対象とした、歯の健康を考える「生活歯援プログラム」を実施しました。



女性会議の開催



社業の発展には女性の活躍できる環境が必要不可欠です。当社では2016年度より女性会議が発足し、女性目線のアイデアがいかに経営に活かされております。また、同年より初の女性管理職も誕生しており、今後も女性の活躍が大いに期待されます。

企業市民としての社会貢献



ふるさとの川愛護活動・マイロードサポート事業

当社は2012年より山形県河川愛護活動団体の認証を受けております。須川周辺の清掃活動毎週実施しており、さらに毎年山形県民河川愛護デーには当社協力会員を含めて100名超の規模にて清掃活動を行っております。また、本活動のさらなる拡充のため、2017年より山形県のマイロードサポート事業団体に登録。河川周辺のみならず近隣の国道・県道の清掃活動を行っております。



BCP（事業継続計画）の策定

自然災害を始め、事業継続に係るあらゆるリスクの対応方法および一日でも早い復旧体制を整えるために、2017年度よりBCP（事業継続計画）を策定しております。緊急時には廃棄物処理業者として可能な限り早期の復旧を行い、社会的責任を全うする所存でございます。

また、2018年8月にはCSRステーション（西部工業団地）にてインタンク（軽油、ガソリンタンク）の運用を開始しました。当施設により燃料の効率運用が可能となったほか、非常災害時には微力ながら地域の方々への検量供給の支援を検討しております。



社内献血活動の実施

当社は献血サポーター団体に登録しており、2018年度も会社を挙げて2回の献血活動を実施しました。

2018年度は年間のべ18,800mLの協力が寄せられ、会社HPを見て駆け付けた一般の方にもご協力いただきました。今後も積極的にボランティア活動に参加して参ります。



透明性の高い情報公開



やまがた環境展2018への出展

2018年度は10月に山形ビッグウイングにて開催された「やまがた環境展」へ出展し、多くの方々にご来場いただきました。

イベントへの参加を通して当社が取り組む環境技術や3R情報を発信しております。



優良産廃処理業者認定

会社HP及び産廃情報ネットにて、会社情報の積極的な公開を行っております。詳しくは本誌裏表紙のURL又はQRコードをご参照ください。

なお、事業の透明性、遵法性が認められ当社は許可を有する9県2市より優良産廃処理業者の認定を受けております。

コンプライアンスの推進



PCB廃棄物収集運搬許可の取得

当社ではPCBに関する事業体制の強化を目的とし2018年4月に新部署「ソリューション事業推進部」を立ち上げ、PCB廃棄物の運搬許可を取得しました。電気機器等に含まれるPCB処理に関するお困りごとを総合的に解決するワンストップサービスを提供いたします。

また、当社は一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会（JPTA）の会員として、主に東北地域のPCB全廃を支援しております。



安定器分別調査作業



顧客満足度・従業員満足度の向上



IT化の推進



社内会議のIT化を図り、PC会議を開始しました。また、社内情報基盤の整備・強化に取り組み、業務の効率化を推進しております。

今後も社内IT化による業務の効率化とペーパーレス化を進めて参ります。

家族へのプレゼント企画

従業員の家族の誕生日に会社よりプレゼントをお贈りする企画を実施しており、従業員とそのご家族を含めて非常に好評得ている企画の一つでございます。



いきいき子育て応援企業優秀（ダイヤモンド）認定

当社の従業員が安心して子育てができる環境が認められ、山形県より「いきいき子育て応援企業優秀（ダイヤモンド）認定」を受けました。

今後も家庭を持つ従業員の働きやすい職場を目指して参ります。



モンテディオ山形 正会員継続加入

ホームゲームの日は「モンテの日」と定め、窓口職員がユニフォームを着用して盛り上げております。

また、2015年より社有車にモンテの装飾を施すなど、モンテディオ山形を会社挙げて応援しております。



社内報 虹色スマイル



2013年より社内報「虹色スマイル」を継続発刊しており、これまで29刊発刊しております。社内外の出来事に加え、従業員へのインタビューや家族の紹介などがふんだんに盛り込まれており、従業員同士のコミュニケーションツールのひとつとして好評を得ております。



クリーンシステム

【本社】

〒990-0845
山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5
TEL 023-644-2228
FAX 023-644-7010

【関東支店】

〒277-0804
千葉県柏市新十余二7-8（十余二工業団地内）
TEL 04-7135-1253
FAX 04-7135-1263

【CSRステーション】

〒990-2351
山形県山形市鑄物町6 西部工業団地内

クリーンシステムの情報閲覧はこちらで！
HP <http://www.csyam.com/>



<ホームページ>



<産廃情報ネット>

PC、スマートフォン、タブレット等でご覧ください。